

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームふれやか 癒楽
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	北見市春光町1丁目31-1
記入者名 (管理者)	清野 津枝
記入日	平成 21 年 9 月 10 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ふれやか全体の理念とは別に、覚え易い理念を作り実施したい指針を示している	引き続きサービスの向上を目指していく。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関ホール、スタッフルーム、キッチン等目の付く所に掲示し 職員は理念を共有し、取り組んでいる	職員は理念を共有し、その人らしく生活出来る様支援していく。
3	<input type="checkbox"/> ご家族様や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、ご家族様や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議、町内会総会などを通じて、ご家族様、地域の方に理解をして頂ける様取り組んでいる	町内会行事の参加、運営推進会議、ホーム内行事などにて運営理念や役割が地域に理解されるよう取り組んでいく。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	遊歩道の散歩、近隣のスーパーへの買い物などで、挨拶をを交わし、気軽に声掛けて下さったり、毎回こちらから挨拶している	○ 近隣の方に気軽に立ち寄って頂ける様 声掛けはしているも実行できていない 今後も皆さんに来て頂ける様な取り組みをしていきたい
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会レクリエーション参加、にっころでのパン作り体験、外食、菊まつり見学、市民合唱祭参加など行なうと共に、ボランティアの受け入れなど進んで行い地元の人々との交流に努めている。	町内会総会出席や町内会たより、回覧板などで情報を知り癒楽便りの発行にてホームの様子をお知らせする事が出来ている。親睦会の際には町内の方より草刈のお手伝いや出席して頂き入居者様やご家族様と交流頂いている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ヘルパー講習者の実習場所として受け入れている 又一般の ボランティアの受け入れ週2回来て頂き、入居者様との関わりを蜜に対応していただいている		遊歩道を散歩途中の高齢者等へ話しかけ、ホームでの休憩等声掛けしている。又近所で障害をもたれている方が自分の生きがいとされている歌を発表する場を提供させて頂き、年に1度訪問を依頼している。
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価での指摘事項を改善し、スタッフ全員で取り組んでいる。		災害時には、町内会の協力が得られる様、役員の連絡網を作成していただき、何時も確認出来る様 スタッフルームに掲示している。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回定期的に運営推進会議を行い、日常生活の様子、サービスの実際、行事報告など行い、参加者からの意見を取り入れ、サービスの向上に努めている。		今後も利用者のサービス向上に繋げるための取り組み、報告、情報、意見交換を継続して行く。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には、毎回地域包括支援センター職員の参加して頂き、多方面での情報、介護予防などのアドバイスを頂いている。		指導頂いた、介護予防(嚙下訓練、棒体操、替え歌、フットケア)等日頃ホームにて実践し、入居者様の身体機能の低下防止に役立っている。又新規入居者様の情報なども頂いている。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	今後必要となる方には活用出来る様支援できる体制は整っている。		管理者、計画作成担当者は権利擁護の研修に参加し必要事項は スタッフへ送り講習している
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	引き続き虐待を行なわないケアを実践している		スタッフ全員に虐待を行なわないケアを行なうよう周知徹底していると共に、常に入居者様の著変に気づきを持つように徹底している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者やご家族様等々の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、重要事項などの説明を十分説明を行い、理解して頂いている。	十分な説明を行い、理解を図っている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や苦情など有った際は、ミーティングにて、スタッフと話し合い、解決策を打ち出し、ケアに繋げ、ご家族様への報告も行なっている	入居者様の言葉、表情等に気を配り、必要な時はスタッフが中に入り、お互いの思いを聞きいれ穏やかに過せる様配慮している。
14	○ご家族様等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、ご家族様等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会の際、日常生活状況、身体状況など報告している。又消耗品の購入依頼などはその都度電話連絡にて、お願いしている。金銭預り者について、出納帳のチェックは毎月確認頂き押印を頂いている	受診、往診時の医者のコメントなども報告し 継続的に行なう事で信頼、協力関係を保っている為 今後も丁寧に行なっていく。
15	○運営に関するご家族様等意見の反映 ご家族様等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置行っているが殆ど利用されていないが、面会時、運営推進会議、モニタリングの際などに気軽に話して頂ける様に努めている。	ご家族様より頂いた率直な意見、苦情に関しては、よりホームが良くなる事を望んで言ってくださっている為、前向に活かす様、取り組んでいる。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフからの意見は常に聞きいれ、必要な事項は上司、又は全体ミーティングに提示し、結果スタッフへ打ち出している。	現場スタッフの意見を十分に聞き、改善して行く事で、働く意欲の向上、質の向上に繋げている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者やご家族様様の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご家族様参加、全員で外出行事の際、一緒に楽しむ形でスタッフ応援あり、又緊急時など必要な職員確保は出来ている。	スタッフへは毎月勤務表作成前に休み希望を受け入れている。急な体調不良などは、スタッフ協力の元、適宜勤務変更を行なっている
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ここ1年間スタッフの入れ替えが無く、馴染みの関係を支援できている。	今後もスタッフの離職を最小限抑えるように努めていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会での勉強会、近郊で行なわれる研修会など受ける機会をスタッフに働き掛けている。	昨年暮れ～2月にかけて救急救命講習も全員受講し、各種の研修に参加出来ている
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会、勉強会、合唱団への参加にて、情報交換など行う事が出来、活動を通じてサービスの向上に努めている。	引き続き相互訪問などの活動も考え行なっていく。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的にスタッフに話し掛け、話しを聞くようにしている。スタッフ親睦会を行ったりしている	勤務希望を受け入れたり、業務上の悩みなど聞きだし、相談解決を継続している。親睦会の回数を今後増やして行きたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	仕事に対する姿勢、良い言葉掛けや対応が出来た際、直接ご本人へ伝え向上心を持って取り組んでいる事を評価している。	運営者は必要に応じて、管理者や計画作成担当者、介護職員に対し、個別に面談し、各自が向上心を持って勤務出来る様勤めている。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築くご本人との信頼関係 相談から利用に至るまでにご本人が困っていること、不安なこと、求めていること等をご本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前のインテーク資料、面談の際知りえた情報をスタッフに提示し、又初期に新たな情報を申し送る事で、ご本人が戸惑う事無い様配慮している	不安な表情、困ったことがあったら何時もスタッフが側に寄り添い、ゆっくりとご本人の思いを聞き入れ、馴染みの関係を気づいている。
24	○初期に築くご家族様様との信頼関係 相談から利用に至るまでにご家族様様等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族様面会の際や必要に応じて電話を用いて、日常の様子、身体的な事を伝え、相談している。又気軽に話せる環境作りをしている。	ご家族様の話をしっかり聴き、受止め、解決出来る様努力している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、ご本人とご家族様様が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	十分に話しを聴き、ご本人、ご家族様様が希望している支援を見極め、対応出来る様努めている。		ご本人、ご家族様の希望を大切にサービスを提供している。
26	○馴染みながらのサービス利用 ご本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるようご家族様様等と相談しながら工夫している	モニタリングの際、ご家族様、ご本人より希望を聴き、計画作成者、介護職員と相談しながら、サービスの提供を行なっている。		ご本人の思いを聞きだし、思いを大切に、言葉がけ、家庭的な雰囲気を作り出せるような配慮をしている。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○ご本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、ご本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、ご本人から学んだり、支えあう関係を築いている	個々出来る事、出来ない事を見極め、家事作業、畑仕事、昔の事など入居者様より多く教えて頂きながら関係を気づいて行っている。		共に支えあいながら、生活している事を入居者様、職員一同が常に意識して暮らしている。
28	○ご本人と共に支えあうご家族様様との関係 職員は、ご家族様様を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒にご本人を支えていく関係を築いている	ご家族様参加の行事には、毎回多くの参加頂き、入居者様と一緒に過して頂く等協力いただく場面多くある。		面会の際にはご本人の状況をお伝えするとともに、再度以前の生活状況等を確認しながら、ご本人の症状等により面会のお願いや外出先の検討等可能な限り一緒に検討して頂いている。
29	○ご本人とご家族様様のより良い関係に向けた支援 これまでのご本人とご家族様様との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	何時でも気軽に、面会出来る様、家庭的な雰囲気作りに努め、ご本人、ご家族様がゆっくり会話出来る様季節に合わせた飲み物の提供を行なっている。ご家族様からご本人に関しての悩み、相談等あった際は一緒に考え、解決できる体制を作っている。		時に居室へ宿泊されるご家族様も居られる。面会時間の設定していない為、自由に面会が可能である。又ご本人への支援方法や入居してからのご家族様との係り方等ご家族様の支援も含め検討、実施している。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 ご本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様の協力にて、墓参り、法事参加、外出など何時でも出来る様、支援に努めている。		ご家族様、ご本人の希望を聞き入れ、馴染みの人、場所との関係が途切れないよう支援している。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	リビングにて過す入居者様多いが、時に居室に訪問してお話される場面も多い、入居者様同士のトラブル生じた際は必ずスタッフが中に入り、トラブルが続かないよう回避している。		入居者様個々の性格や、入居前の生活背景を念頭におき 無理なく入居者様同士の関係作りが出来る様支援している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者やご家族様様には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要に応じて相談、支援している。		病院に移動された入居者様に対して、時折面会させて頂きご家族様との連絡も行なっている。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、ご本人本位に検討している	個々の状態②合わせて、ご本人 ご家族様様の意向に沿ったのケアプランを作成するよう心がけている。		インテーク、アセスメント、モニタリングなどにより、入居者様の生活特性を把握し、可能な限りご本人の意向に沿った生活がすすめるようケアプランを作成している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人の生活歴などを基に、個人史を尊重し、馴染みの生活が送れるよう 努めている。		生活歴の把握、ご家族様からの情報をもとに、ご本人主体の生活が送れるようGOL向上に努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1日がゆっくりと個々のペースに添った暮らしが出来る様努めている。出来る限り自己決定出来る様、職員は待つ体制をとっている		個々の出来る力、わかる力を暮らしの中で発見し、職員全員把握するよう努めている。
2. ご本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 ご本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、ご本人、ご家族様様、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3ヶ月に1回のモニタリングを通して、ご本人、ご家族様、職員の意見を取り入れたプランを作成している。		居室担当スタッフがモニタリングを行い、ご家族様、ご本人の意見を最大限に生かしている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、ご本人、ご家族様様、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリング以外、必要に応じてふらんの見直しを行い、ご本人、ご家族様と相談の上、現状に応じた新たなケアプランの作成を行なっている。		変化に応じて臨機応変にプランの見直しを行なっている。介護支援専門員の指導のもと居室担当者がモニタリングを行ない作成している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録を用いてケアの実践、結果、日々の様子をプランに添った記録を各勤務帯にて行なっている		生活記録により、入居者様の状態が把握でき、特記事項には※印を付け、情報の共有が出来ている。又申し送り簿を参照周知徹底している。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 ご本人やご家族様様の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時の移動、車椅子での外出時など要望に応じて対応出来る様、事業所へ連絡、調整し全員での外出を支援している。		車の調整が出来れば少し遠出し、1泊旅行も計画していきたい。
<b>4. ご本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 ご本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	6月運営推進会議後にカラオケボランティア2名来て下さり、曲に合わせて踊り出す入居者様も居たほど和やかに過す事が出来た。		今後保育園からも依頼が来ているため、行事毎以外にも受け入れていく方向である。
41	○他のサービスの活用支援 ご本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用する為の体制は出来ている。		治療目的にデイケアを利用している入居者様も居り、又受診時に介護タクシーの利用している方も居る。
42	○地域包括支援センターとの協働 ご本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議の際、毎回出席して頂き、色々な情報、介護予防のアドバイスを受け、ホームで実施している。入居希望などの情報、相談を行なっている。		介護予防に関しては嚙下訓練、棒体操、替え歌など継続して行なっている。
43	○かかりつけ医の受診支援 ご本人及びご家族様等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在中央病院からの往診を受けている入居者様4名、その他かかりつけ医に定期的を受診している、状況説明、急変時などには、介護添書持参、又は管理者が対応し支援している。		ご家族様対応での受診の際は、診断内容、薬の変更は無いか状況を聴き取り、変更時にはスタッフに伝達している。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力指定病院の医師と相談できている</p>	<p>今後より良い関係を気づくよう協力、相談をして行く。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>保健師の定期的な健康管理、相談などは常に行い支援している</p>	<p>入居者の健康管理以外にも、感染防止策など相談しながらホームに取り入れ実施している。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院した際は、症状落ち着き次第、Dr、SW、と話し合いを行い早期退院できる様支援している。</p>	<p>入院した際は、常にご家族様との連絡、面会など行い、安心して入院生活を送れる様支援している。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階からご本人やご家族様様等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や看取りについての指針について整備している、かかりつけ医、ご家族様、保健師などと話し合い、早い段階から全員で方針を共有出来る様、努めていく。</p>	<p>重度化、看取りに関して、入居時に説明行いって居るが、現在対応となる方には、常にご家族様と話し合い支援出来る様行っている。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>終末期に向けかかりつけ医、保健師、と共によりホームでの生活を送れる様、話し合いながら準備をして行く。</p>	<p>終末期、看取りに向けたケアの知識をスタッフ全員習得し、個々にあったケアのサービスが出来る様、管理者、介護支援専門員、介護職員が研修会の参加し、研修へ出られなかったスタッフへ伝達講習を行なっている。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>ご本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、ご家族様様及びご本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>インテーク、アセスメント時にご家族様様、関係者より情報を多く知り得た上で、住み替えによるダメージを最小限抑える事が出来ている。</p>	<p>移り住む前にご本人の状況、習慣、好み。これまでのケアの工夫など情報を詳しくスタッフ周知し、居室の環境整備等ダメージを最小限に抑えていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b> <b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50	<b>○プライバシーの確保の徹底</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを損ねるような言葉かけは行なわない様、十分注意し、その人に合った言葉掛けを行なっている。記録は個人専用ファイルに保管している。	日常的に気分を損ねる言葉掛けは行なわない様、スタッフに伝え実践している(言葉での抑制はしないように)
51	<b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> ご本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	分る力に合わせて、家事作業など色々な場面で、出来る限り自己決定が出来る様支援している。	分かり易い言葉で説明し納得して頂きながら、スタッフは何時も見守り携わって支援している。
52	<b>○日々のその人らしい暮らし</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆとりの気持を持って、入居者様の希望を優先に支援している。	業務が優先する事が時にあるも、出来る限り希望に添った、生活が出来る様支援して行く。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53	<b>○身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容はご本人の望む店に行けるように努めている	女性は女性らしく、男性は男性らしいお洒落が出来る様支援している。月1回美容院が来て散髪、髭剃りが行なわれている。希望する美容院に行かれる女性入居者様も居られる	日頃身だしなみには、さり気なくサポートし、出来るだけ自分の着たい、洋服選びをして頂くようにしている。又外出、行事の際は、化粧などのお洒落を楽しむ機会を作っている。
54	<b>○食事を楽しむことのできる支援</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は目でも楽しんで頂ける様、盛り付けの工夫をしながら、入居者様と一緒に、準備、片付けを行なっている。又毎週土曜日の夕食は、入居者様希望の献立にて、買い物、調理と行い、手作り料理を継続、支援している。	スタッフ見守りの中、包丁も上手に使われ調理、出来栄を楽しみにされていられる。食事中静かな音楽を流してゆったりとした気分で頂く事も多い。
55	<b>○ご本人の嗜好の支援</b> ご本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコは現在の好まれる方は居なく、飲み物に関しては、食事以外自分の好みのものを提供している。おやつは、手作りが多いが、時に名店のお菓子、季節の果物などと工夫して毎回楽しめるよう支援できている。	お酒に関しては、お正月、敬老会などおめでたい日に提供している。お誕生会、クリスマスは例年スタッフ手作りケーキにておもてなしを継続している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来るだけトイレでの排泄を行い、個別排泄チェック表を参考に、個別に声掛け誘導している、状態にあわせて下着、オムツ、パットの使い分けを行なっている。		個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄の自立を支援している。又プライバシーに配慮しての対応を継続している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人一人入浴が楽しい時間になるよう リラックスして頂き、ゆっくりと入浴して頂ける様 支援している。		時に歌を唄ったり、入居者様との会話の場になっている。希望の時間帯には中々添う事が出来ていないが、失便時などにはシャワー浴にて速やかに対応できている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	車椅子使用の入居者様もソファに移動して頂き、ゆっくりと過ごして頂、夜間眠れない方へは、暖かい飲み物の提供して安眠策をとっている。		睡眠パターンの把握をしている。眠る事だけに注目せず、その人の生活習慣などを考え支援している。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の暮らしに、自分のやりたい事を聞きだし、楽しみながら張り合いのある日々を過ごして頂ける様支援している。		散歩、テレビ観賞、音楽鑑賞、買い物、など個々にあった楽しみが出来る様支援している。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、ご本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はホームサイドで行っているが、買い物希望時などスタッフ必ず付き添い、自分の好みの買い物して頂いている。デイケアに行かれる方は、小遣い持参している。		自分で買い物出来る方は極一部にて、今後全員で買い物ツアーなど計画し 好みの買い物、食事など出来る様 支援して行きたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご家族様様と一緒に買い物、親類宅、祭りなど出かけていられる。お天気の穏やかな日は、戸外散歩に出かけられる様支援している。		野菜の手入れ、収穫、草とり、洗濯物干し、など戸外に出る機会を作っている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者やご家族様様とともに出かけられる機会をつくり、支援している	北見合唱祭参加は今年で4年目、にっころでのパン作りも2回目、毎年外出機会として近隣の回転寿司、ラーメン店などにも出向いている。		ご家族様様の協力にて、墓参り、祭り、外食、などご本人の思いに添って外出支援を行っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 ご家族様様や大切な人にご本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎日の様にご家族様様からの電話にて、近況報告されている方も居られる。又FAX利用され自分の思いをご家族様様に伝えている。		定期的な面会がある為、手紙のやり取りはしていないが、今後ご家族様様への思いを手紙を通じて伝える事が出来る様支援して行きたい。
64	○ご家族様様や馴染みの人の訪問支援 ご家族様様、知人、友人等、ご本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	何時でも気軽に来て頂ける様、配慮している		訪問時は玄関まで出向き、ゆっくり過ごして頂ける様、飲み物、時にオヤツなど一緒に食べて頂き 家庭的な雰囲気を作るよう心がけている。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。		どんな場合でも身体拘束は行なわない事と禁止対象となる具体的な行為についてスタッフ全員周知徹底し、身体拘束を行わない様取り組んでいる。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室、玄関は鍵をかけないケアを実践している 玄関施錠は22:00～5:30迄としている。		24時間玄関センサーを利用しており、反応時は必ず玄関に出向き確認することで、事故を防いでいる。
67	○利用者の安全確認 職員はご本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ間声掛け合い、常に入居者様の所在を確認把握している。夜間巡回し、安全に配慮している。		休まれている際にもプライバシーを配慮しながら、入居者様の状態を把握する事で、危険を防いでいる。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険と思われる物品に関しては、ご本人、ご家族様様の了解を頂、スタッフルームにて保管させて頂いている。		希望時はスタッフ見守りの中使用している。内服に関してはホーム管理で行なっている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の状態に応じて対応し、事故防止に取り組んでいる。薬に関しては、職員同士でWチェック行い、名前を確認する事で、誤薬は起きていない。又誤嚥し易い方には、食事形態を変えスタッフ見守り介助する事で、誤嚥、窒息を防いでいる。		今後も一人、ひとりの状態に応じた事故防止を継続的に取り組んでいく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	昨年全てのスタッフが救急救命法の研修を受け、初期対応学んでいる。		急変や事故発生時、適切な対応が全てのスタッフが対応出来る様、緊急マニュアルなど使用し、繰り返し研修を行なっていく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の災害訓練を実施している。火災に関しては、自動火災報知器、スプリンクラーの設置を行なった。		今年初めに町内会会長さんへ協力依頼し、役員さんの連絡網を作成して頂き、見やすい場所に掲示している。今後訓練の際連絡網を使い動きの確認が取れるようにして行きたい。
72	○リスク対応に関するご家族様様等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについてご家族様様等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	心身の状態を把握しながら、起こりえるリスクに対して、常にご家族様様へ説明行い、対応策を話し合い、相談している。		リスクについて何度も説明し、ご家族様様へ対応策などの話し合いを行なっている。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化、異常なサインは早期に発見、対応が出来る様、スタッフは常に注意を払っている。		体調変化、異常の際は、直ぐ管理者に報告し指示を受けると共にご家族様様へ報告、必要に応じて受診対応している。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬ファイルにて、薬の目的、副作用が知る事が出来る。適切に服用して頂く為に、トロミ剤使用して飲み易くしている。服用の際は、必ずWチェック行い誤薬を防いでいる。		全てのスタッフは、毎回誤薬に注意を払い、適切に服用できるよう取り組んでいる。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	直ぐ軟下剤に頼るのではなく、起き掛けの冷水、牛乳など提供、適度な運動、腹部マッサージなど行い、便秘の予防に努めている。		1日の水分量、食事量のチェックに共ない、出来る限り軟下剤を使用しない工夫をしている。時に繊維の多いさつまいもなど、オヤツに提供している。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアは継続的に行なっている。舌苔見られる方には舌ブラシを用いたり、毎回口腔内の清潔に努めている。		就寝前は、義歯をはずして頂き 週2回洗浄剤を使用している。残存歯の状態の確認や口腔内の清潔保持に努めている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日1000～1500CCを目途としているも、一人ひとりの状態に合わせて確保出来る様、摂取法も工夫しながら支援している。食事量、形態などは個々にあわせて提供している。		高齢者に脱水症状起きやすく、周辺症状もあることは全スタッフ周知している為、水分、食事、チェック表の確認しながら支援できている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	通年通して、外来者、入居者様、スタッフは手洗い、うがいの励行を実施継続している、食器消毒も熱水消毒を行なっている。		徹底して行なっているため、現在の所感染症に罹患した入居者様、スタッフは居ない。又開設当時より飲水は、生水使用せず、必ず湯冷ましを提供している。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、フキン、食器は常に清潔に使用し、その都度消毒を行ない衛生管理に努めている。食材は沢山保管せず、早めに使用している。		調理、盛り付けの際は、必ず手洗い、手指消毒をおこない衛生管理に努めている。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者やご家族様様、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関スロープは幅広くなだらかに成っている為、移動し易く、ガーデニング、ベンチなど置き、建物周囲には畑を作るなど親しみ易く工夫している。		遊歩道側に玄関が設置されている為、初めて来館される方には、わかりづらいのが難点だが、直接道路に面していないだけご家族様に安心して居て頂いている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには、季節感を持って頂ける様なディスプレイや、行事毎の写真、入居者様の作品など掲示し楽しんでいる、又お風呂入り口にはわかりやすく、温泉マークの暖簾を下げ、居心地よく過せる様な工夫をしている。		リビング、廊下には日めくりカレンダーを掛け、それを毎日めくる事を役割として行なっている入居者様もいる。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでゆっくり過ごしている方、TVを見ている方、食卓テーブルにて塗り絵、作業している方など、思い思いに過ごされている。		気持の落ち着かない入居者様は気分転換にスタッフルームにて過したり、戸外へ出かけたり、スタッフが側に寄り添う事で、落ち着くこともある。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、ご本人やご家族様様と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、ご本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には出来るだけ、自宅にて使いなれた物を持参して頂き、場ベッドの高さを調整し、家具の配置はご家族様様、ご本人と相談の上配置している。		家具の位置を変える際も必ず、ご家族様と相談の上行なっている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	調理の際は換気扇を回したり、窓を開けて空気のだよみが無い様に努めている。室温、湿度もこまめにチェックしている。クーラー使用は最小限として、自然の風を入れるように努めている。		暖房使用する、冬季間は1日4回湿度、室温をチェック表に記入し、湿度調整に濡れバスタオルなど用以て湿度を保つようにしている。入居者様の健康管理にも繋がった。
<b>(2)ご本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	食事の際車椅子から椅子へ移動していただく、廊下、トイレの手すりを利用して立ち上がり、歩行など身体機能の低下を防ぐよう支援している。		毎日の食事前の嚥下体操の実施、バリアフリーの為、雨天時戸外散歩出来ないときは、廊下にて歩行練習されている。過剰介護をせず、ご本人の身体機能等を見極めた上で、出来るだけご自身で行なえる動作は見守りのもと事故のない様ご自身で行なって頂いている。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の出来ること、出来ない事を見極めスタッフは、入居者様が混乱しないよう、ゆっくりとした口調で話し、間違っ言動にも否定しないよう努めている。		出来るだけ、混乱や失敗を防ぐよう今後も配慮を継続する。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関スロープ下、花壇には季節ごと、七夕、焼き芋、高架下では焼肉パーティなど活用し楽しんでいる。		建物周囲には畑も小さいながら作り、季節のやさいを楽しんだり、草取りに励んでくれる入居者様もいる。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。		
項 目				
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の	
			②利用者の2/3くらいの	
			③利用者の1/3くらいの	
			④ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある	
			②数日に1回程度ある	
			③たまにある	
			④ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	○
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と	
			②家族の2/3くらいと	
			③家族の1/3くらいと	
			④ほとんどできていない	



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日常的に過剰介護に成らないよう、一人ひとり出来ること、出来ない事を見極め、自分の力を出せるよう支援している。  
 感染症予防は通年徹底して行い、暖房使用時は換気、湿度に十分配慮行い入居者の健康管理に努めている。  
 又誕生会のケーキは毎回手作りにてお祝いし、オヤツも昔ながらの手作りを多く行い、家庭的な生活が送れる様支援している。  
 にっころでのパン作り体験も例年実施して行く予定である。